

平成二十九(二〇一七)年度 法学研究科博士課程前期2年の課程 入学試験問題(一般選抜)

(科目名) 国際法

次のすべての問いに答えなさい。

一、「二貫した反対国の法理」について、慣習国際法の拘束力の根拠と関連づけながら論ぜよ。

二、他国による自国への武力の行使に対して武力を用いて反撃を行った国家が、その反撃における武力の行使を自衛権の行使として正当化できない場合として、どのようなものが考えられるか。関連する国際司法裁判所の先例に言及しつつ説明せよ。

(以上)